

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(市町総括表)  
**【単独・連携事業】**

市町名	鹿沼市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	中小企業自走化支援事業						
	総事業費	646,482	2,300,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	11,946,482
	うち市町支出額	646,481	2,300,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	11,946,481
	うち県交付金	323,240	1,150,000	1,500,000	0	0	2,973,240
2	総事業費						0
	うち市町支出額						0
	うち県交付金						0
3	総事業費						0
	うち市町支出額						0
	うち県交付金						0
4	総事業費						0
	うち市町支出額						0
	うち県交付金						0
5	総事業費						0
	うち市町支出額						0
	うち県交付金						0
6	総事業費						0
	うち市町支出額						0
	うち県交付金						0
7	総事業費						0
	うち市町支出額						0
	うち県交付金						0
8	総事業費						0
	うち市町支出額						0
	うち県交付金						0
9	総事業費						0
	うち市町支出額						0
	うち県交付金						0
10	総事業費						0
	うち市町支出額						0
	うち県交付金						0
市町計	総事業費	646,482	2,300,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	11,946,482
	うち市町支出額	646,481	2,300,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	11,946,481
	うち県交付金	323,240	1,150,000	1,500,000	0	0	2,973,240

栃木県がまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	鹿沼市
事業名	中小企業自走化支援事業
事業主体の名称	鹿沼市企業支援センター運営協議会
代表者の名称	会長 坂入弘泰
事業主体の所在	鹿沼市今宮町1688-1
事業主体の概要	<p>団体の目的:鹿沼市における地域経済の好循環を実現するため、市内に立地する企業(以下「市内企業」という。)に対する、企業の成長及び自走化に向けた支援のあり方を、行政、支援機関、地元金融機関の視点から協議することで、鹿沼市企業支援センターが効率的・効果的な企業の成長支援を実施することを目的とする。</p> <p>・設立年月日:令和3年6月1日 ・構成員等:鹿沼市役所、鹿沼商工会議所、栗野商工会、鹿沼相互信用金庫</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>市内企業においては、第二次産業の特化係数が1.52と全国平均1.00に比して高く、製造業が盛んな地域である。特に家具装備品製造業や木材・木製品製造業を中心とする木工業者及び金属製品製造業や輸送用機械器具製造業を中心とする金属加工業者が製造業の割合を占めており、鹿沼市の基幹産業となっている。よって、これら製造業が地域経済に与える影響は非常に高いと言える。</p> <p>木工業者においては住宅関連産業の需要の増加や、東京オリンピックへ向けた大規模建築物等の改装や建て替えに伴う受注の増加により、順調に売り上げを伸ばしてきた。金属加工業においても、自動車産業や航空機関連産業、半導体関連産業の好調により、順調に売り上げが伸びている傾向であったが、両産業共に、新型コロナウイルス感染症やボーイング社の減産の影響を受け成長が鈍化している。また、本市に立地するほとんどの企業が中小企業であり、多くの企業が、大企業や中堅企業のサプライチェーンに組み込まれており、比較的安定した収益を得てきている一方、現状に対する危機意識や問題意識が低く、成長意欲が低い企業も多い。</p> <p>現在、人口減少による国内市場の縮小、経営者の高齢化などリスクが明確になるとともに、市場動向をはじめとした企業がおかれる環境の変化速度も上がってきている。この中で、早急にダイナミックケイバリティ(企業変革力)を向上させることで、企業が成長に向けた足元を固めることが必要である。ダイナミックケイバリティの向上は、企業の経営者のみではなく、企業全体として取り組む必要があるが、多くの市内企業においては、課題発掘及び解決は経営者が単独で対応するケースがほとんどであり、様々な変革に対応することが困難である。そのため、外部人材を活用し、従業員を含めた企業全体に対し課題発掘の気づきを与え、その解決までの成功体験を通じ、企業の風土を革新することで課題発掘から解決までの自走化を促し、ダイナミックケイバリティを向上させる必要がある。</p> <p>なお、昨年度までは企業の個別課題の解決ツールとしてスポット的な専門家派遣を実施していたが、特定課題解決後の展開が緩慢になることもあることから、今回の事業は昨年度までのスポット的支援と並行し、新たに企業が課題発掘から解決までを自社で行えるような、トータルコーディネート的な支援を目指すものである。</p> <p>また、これまで支援実績については、その後の施策検討のため、協議会内部で情報共有を行うのみだったが、今回からは企業間で形成する予定のコンソーシアムが事例を共有することで、地域内の波及効果やイノベーション創出という効果を狙っていくものである。</p> <p>それに加え、団体の構成員である市内支援機関(鹿沼商工会議所、栗野商工会、鹿沼相互信用金庫等)へも情報共有を行い、具体的な成長支援の手法を検討、協議していく。</p>
事業目的	市内企業の取り組みべき課題を発掘し、解決へ向けた取り組みを支援する。課題発掘から解決までの成功体験を通じ、企業の自走化を促すことで、ダイナミックケイバリティを向上し、市内の産業基盤強化を図る。
事業概要	<p>鹿沼市内の支援機関との連携のもと、企業支援チーム(構成員:鹿沼商工会議所、栗野商工会、鹿沼相互信用金庫等)を組織し、市内企業のヒアリングを実施した。</p> <p>企業が把握している課題のほか、企業が抱える根本的課題の掘り起こしを行った。なお、課題の掘り起こしにあたっては、企業主体で行うものとし、経営者のみならず従業員にも「気づき」を与えることで、自ら課題を発掘することに繋げた。ヒアリングから課題発掘については、企業経営のエキスパートとして専門家(コンサルタント等)と連携し、会社が抱える潜在的な課題に対し専門的な知見からアクセスを行った。顕在化した課題については、必要に応じ各分野の専門家と連携し、解決に取り組んだ。</p> <p>また、本事業においては課題発掘・解決事業のほかに、市内企業のネットワークを強化しコンソーシアム形成を目指した取組として、2回にわたりウェビナーを実施した。本ウェビナー参加者を中心に、次年度は市内企業のコンソーシアム形成を実施する。それにより域内の企業間連携を充実させることで、好事例を域内に波及させる効果が期待されるほか、新たなイノベーションの創出や、今後のDXへの取組の足掛かりとする。将来的には、地域の中核を担う企業を中心とした域内の企業連携事業へ発展させる。</p> <p>次年度以降においては、今年度の取組をさらに発展させ、域内への好事例の横展開を図るため、企業間連携の強化を行うとともに、支援の強化を図るため、鹿沼市外の支援機関との連携を強化する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【スケジュール】</p> <p>①市内企業のヒアリング 10月～3月(随時) ・45社 ・製造業中心</p> <p>②課題発掘 11月～3月(随時) 解決への支援 11月～3月(随時) ・3社 ・木工業、金属加工業</p> <p>③市内企業間のネットワーク構築 2月までに構築 ・セミナー開催によるネットワーク基礎構築 ・全業種、参加企業14社</p> <p>④先進事例調査 3月(行き先:福島県南相馬市) ・FA(ファクトリーオートメーション)の最先端デモフィールド視察</p>
	鹿沼市総合戦略(1)産業の振興と安定した雇用の創出①産業の振興 市内総生産額394,341百万円(令和3年度)※鹿沼市総合計画目標

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内企業ヒアリング</li> <li>課題発掘、解決</li> <li>市内企業間ネットワーク構築</li> <li>先進事例調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内企業ヒアリング</li> <li>課題発掘、解決、横展開</li> <li>市内企業間ネットワーク強化</li> <li>市外支援機関連携</li> <li>先進事例調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内企業ヒアリング</li> <li>課題発掘、解決、横展開</li> <li>市内企業間ネットワーク拡大</li> <li>市外支援機関連携強化</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>市内企業ヒアリング</li> <li>課題発掘、解決、横展開</li> <li>市内企業間ネットワーク拡大</li> <li>市外支援機関連携強化</li> </ul>
事業費	646,482	2,300,000	3,000,000	5,946,482	3,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	646,481	2,300,000	3,000,000	5,946,481	3,000,000
うち県交付金	323,240	1,150,000	1,500,000	2,973,240	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1	0	0	1	0

市町担当情報

担当課(クローア・係)名	産業振興課
担当者名	竹内 哲也
電話	0289-63-8347
FAX	0289-63-2189
E-mail	sangyou@city.kanuma.lg.jp

## 栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	鹿沼市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	中小企業自走化支援事業	
対象年度	3	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	646,481	
預金利息	1	
計	646,482	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	240,000	240,000	120,000	0	専門家報酬:10,000円/h×3h×4回、10,000円/h×2h×1回
通信費	133,100	133,100	66,550	0	Wi-Fi利用料等
旅費	30,900	30,900	15,450	0	先進地視察旅費(福島県南相馬市)
消耗品	34,114	34,113	17,056	1	協議会の印、ヘッドセット
備品費	199,100	199,100	99,550	0	ウェビナー用PC
印刷費	3,218	3,218	1,609	0	ウェビナー用チラシ
役務費	6,050	6,050	3,025	0	振込手数料
				0	
				0	
				0	
計	646,482	646,481	323,240	1	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合